

カリニ肺炎治療剤[※]

ベナンボックス[®] 注用300mg の調製法

※カリニ肺炎は現在、ニューモシスチス肺炎と呼ばれています。



静脈内投与

■用法及び用量

通常、ペンタミジンイセチオン酸塩として4mg/kgを1日1回投与する。

日局注射用水3～5mLに溶解した後、日局ブドウ糖注射液又は日局生理食塩液50～250mLに希釈し、1～2時間かけて点滴静注する。

1

ベナンボックス1バイアルを用意します。



2

日局注射用水3～5mLをバイアルに注入します。



完全に溶解するまでよく振ってください。



3

必要量を注射筒で抜き取ってください。



4

日局ブドウ糖注射液又は日局生理食塩液50～250mLに希釈してください。



日本標準商品分類番号 876419

カリニ肺炎治療剤

劇薬 処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

ベナンボックス[®] 注用300mg

ペンタミジンイセチオン酸塩製剤 ●薬価基準収載



吸入投与

■用法及び用量

通常、ペンタミジンイセチオン酸塩として300～600mgを日局注射用水（1バイアルにつき3～5mL）に溶解し、吸入装置を用いて1日1回30分かけて投与する。吸入装置は5 μ m以下のエアロゾル粒子を生成する能力を有する超音波ネブライザー又はコンプレッサー式ネブライザー等を使用すること。なお、吸入装置により霧化能力、薬液槽容量が異なるので、使用する機種に応じて薬液を日局注射用水で適切な量に希釈して用いること。

1

ベナンボックス1バイアルを用意します。



2

ペンタミジンイセチオン酸塩として300～600mgを日局注射用水（1バイアルにつき3～5mL）に溶解します。



完全に溶解するまでよく振ってください。



3

必要量を注射筒で抜き取ってください。



4

吸入装置に薬液を注入してください。



吸入装置により、霧化能力、薬液槽容量が異なるので、使用する機種に応じて薬液を日局注射用水で適切な量に希釈して用いること。

吸入装置の性能や取り扱い方法については、各医療機器メーカーにお尋ねください。

【禁忌】より一部抜粋

4. 吸入投与は、換気障害が重症の患者（PaO₂ 60mmHg以下）には行わないこと。[換気障害のため、薬剤の十分な拡散が得られないことがある。]

詳しくは添付文書をご確認ください。